

# クリエイティブ人材 の育成について

重点的検討課題② クリエイティブ人材の育成・集積・活用

---

令和5年12月14日  
新産業戦略PT事務局

# 1. クリエイティブ人材に関するご意見

@「しあわせる。富山」

session

オープニングセッション

1

## 地方から新しいモデルをつくる。～しあわせデザイン公開会議～

10月13日（金）、オープニングセッション「地方から新しいモデルをつくる。～しあわせデザイン公開会議～」をKOTELO（立山町芦峯寺）で開催しました。これまでの「しあわせる。富山」の登壇者を中心に生まれたプレーヤーコミュニティ「しあわせデザイン」のメンバーが、地域社会が目指す未来のカタチや具体的なアクションについて話し合いました。



明石博之  
場ヅクル・プロデューサー、グリーンノートレーベル株式会社 代表取締役

南部歩美  
藍染め屋aiya、つなぐプロジェクト

坂東法子  
家印株式会社、みらいまちラボ ホスピタリティ・マネージャー

徳田琴絵  
ライター / インキュベーション施設 HATCHコミュニケーター

羽田純  
株式会社ROLE 代表/デザイナー

前田大介  
前田薬品工業株式会社 代表取締役社長

中川めぐみ  
株式会社ウオー 代表取締役

原井紗友里  
株式会社オズリンクス 代表取締役社長

「しあわせる。富山」オープニングセッションより抜粋 地域での取り組みを加速させる“新しいインフラ”とは

羽田さん

・職人の業界は全国的に生産力が落ちていて、売れていたものが売れなくなっている。行政は、「減ってきた職人たちをどう増やしてどう育てるか」というように、技術に対して補助金などの支援をしているが、そもそも売れる構造が成り立っていない。なぜ新しい道をつくるプロデューサー側を育てる構造がないのか。プロデューサーを育てた方が、僕は絶対にいいと思っている。

明石さん

・1、2店舗だけではどうしようもなくとも、20、30店舗となって、やっとそのまちの魅力が認められるタイミングが来る。建物自体がインフラというわけではなくて、そのまちに魅力を感じた人が来て、そこに新しい風が入って、「そのまちに何か魅力があるんじゃないか」と、また人が呼び寄せられる。これ自体がインフラではないか。そんな好循環が起こるようなインフラをつくっていただけたらよい。

・ディレクター、プロデューサーという立ち位置の人は苦勞してないというか、できて当たり前というか、支援が必要ないと思われる。

## 2. これまでの新産業戦略PTの議論 ①重点的検討課題

社会経済変化が激しく、国際標準化が進展する潮流の中で、  
ウェルビーイング社会の実現に向けて 「クリエイティブな発想で富  
山県産業に新しい価値を生み出す人材」をどう増やして（育成・集  
積・活用して）いくか

### 【ウェルビーイング社会の実現】

- ・クリエイティブ人材の活躍による企業の経済成長 ⇒経営者・従業員のウェルビーイング向上
- ・企業の魅力向上・投資や人材の集積による好循環 ⇒県民のウェルビーイング向上

### 【クリエイティブ人材の例】

- ①国際標準化時代に対応し、既存の県内企業や伝統産業の価値を高める人材
- ②社会課題解決を行うスタートアップやスモールビジネスを起業する人材

## 2. これまでの新産業戦略PTの議論 ②検討の方向性

---

- (1) 県外からクリエイティブな人材を集める、  
県内でクリエイティブ人材を育てるには、どうすればよいか
- (2) 県内にデザイン経営やデザイン思考を普及するには、  
どうすればよいか
- (3) 県内企業のマインドを、より「攻めの姿勢」に変革するには、  
どうすればよいか
- (4) 「デザイン思考×本県企業の強み」により新産業  
(新ビジネス・新製品) を創出するには、どうすればよいか

## 2. これまでの新産業戦略PTの議論 ③主なご意見

### ●クリエイティブな人材を集める・育てるには

#### <現状に関する意見>

- ・ 人は育っていて、県外からも来ている。固有名詞も挙がってきた。
- ・ 育った優秀な学生が流出している。  
富山では面白い・クリエイティブな仕事ができなさそうというイメージ  
生活の安定を重視する学生が県内を選ぶ傾向に。企業の採用も同様の傾向。

#### <取組みに関する意見>

- ・ クリエイティブな人材にアウトプットをだしてもらおう仕組み  
県内でのさらなる人材の育成・集積・活用のきっかけに
- ・ 若い世代に向けたイメージ作り  
県内でもクリエイティブな仕事ができることをブランディングして発信する